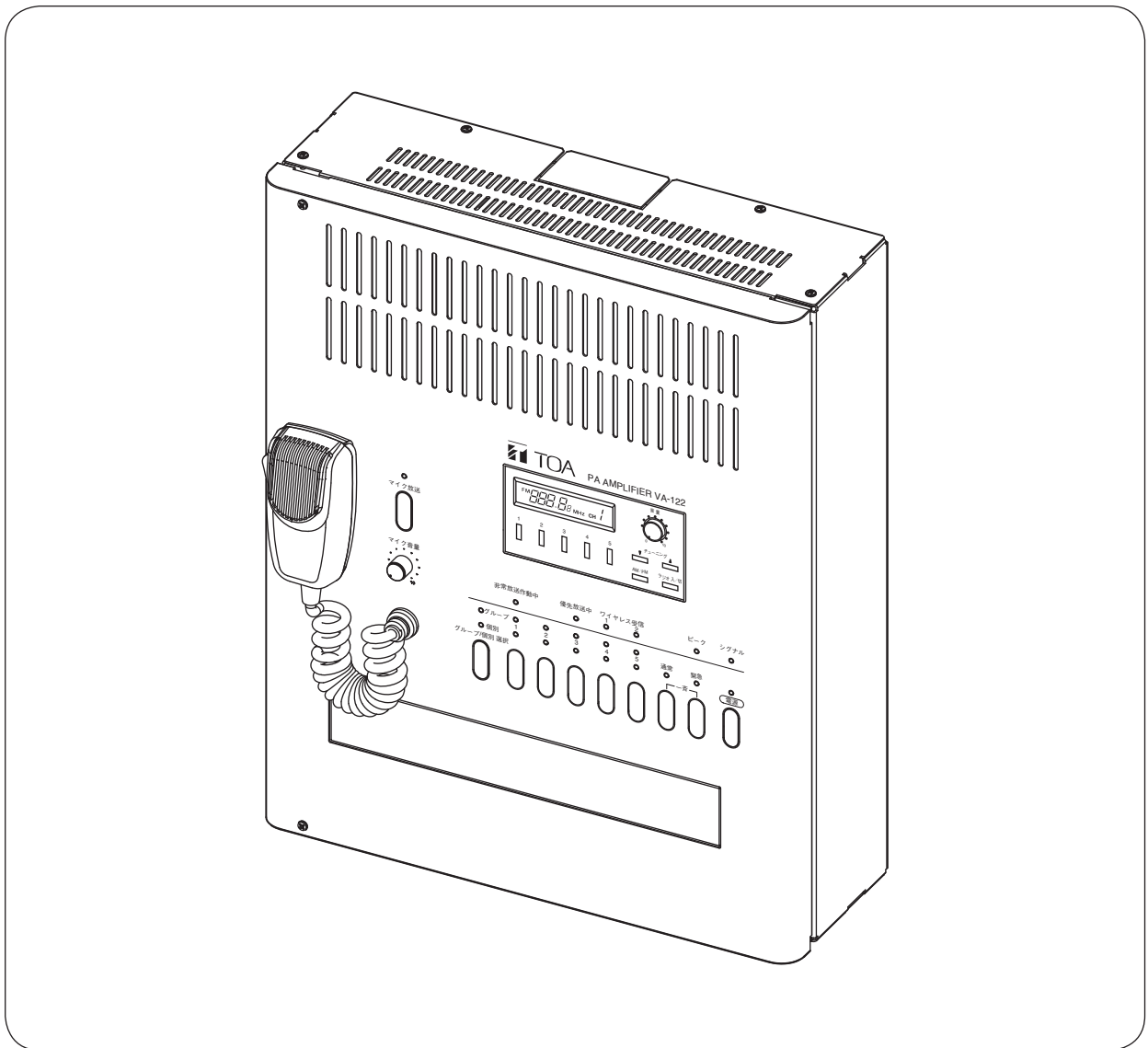


壁掛型アンプ	60W 5局	VA-62
	120W 5局	VA-122
壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー (別売品)		VA-20



このたびは、TOA 壁掛型アンプおよび壁掛型アンプ組込用ラジオチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 目 次

安全上のご注意	3
概 要	5
特 長	5
使用上のご注意	5
各部の名称とはたらき	6
操作のしかた	9
操作の前に	9
音量・音質の調節のしかた	10
アナウンスマイクを使って一斉放送をする	11
アナウンスマイクを使って個別放送をする	12
CD プレーヤーなどで放送する	12
ラジオを受信して放送する（別売の VA-20 組み込み時のみ）	13
グループ放送をする	15
一斉リモートマイク（別売品）で放送する	16
リモートマイク（別売品）で放送する	17
ワイヤレスマイクで放送する	18
電話機からページング放送をする	18
放送の優先順位について	19
故障かな？と思ったら	20
外観寸法図	21
仕 様	22
壁掛型アンプ VA-62、VA-122	22
壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー VA-20（別売品）	23

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

## 表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号
			
分解禁止	禁止	接触禁止	強制



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 使用するとき

### 万一、異常が起きたら

次の場合、アンプの電源スイッチおよびブレーカーを切って販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 音が出ないとき



強制

### 内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部を開けての作業は、専門業者にご依頼ください。



分解禁止

### 液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

### 内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

### 雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



## 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容  
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 使用するとき

#### 通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

#### 上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

#### 長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

#### 定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



強制

#### お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切ってください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



強制

#### 製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

## 概要

薄型、軽量で壁面などに場所をとらずに設置することができる、屋内用壁掛型アンプです。

VA-62 は定格出力 60 W、VA-122 は定格出力 120 W のアンプを内蔵しています。

マイク入力 2 系統、予備入力 3 系統、および 5 局スピーカーセレクトター（個別、グループ切替可）を装備しています。

電話ページング機能、非常時電源断機能、スピーカー回線自動切替機能、呼び出しチャイム音源付きです。

ダイバシティチューナーユニット（別売品）を 2 台まで組み込み、ワイヤレスマイクを 2 本使用できます。

また、優先制御入力により放送の優先度設定ができます。優先順位の高い放送が始まると、優先順位の低い放送はカットまたはミュート（調節可）されます。

## 特長

- 薄型・軽量で設置が容易です。  
事務所、倉庫、講義室などに場所を取らずに設置することができます。
- 簡単呼び出し機能内蔵  
付属のアナウンスマイクを使用すると簡単に呼び出し放送をすることができます。  
別売の卓上型マイク リモート機能付を使用すると、マイクのスイッチを操作するだけで、電源リモート・呼び出しチャイム音起動・マイク放送ができます。
- 電源リモート用リレー内蔵  
リレーボックスを追加しなくても電源リモートや一斉放送制御ができます。
- 5 局リレーボックス機能内蔵  
別売の 5 局リモートマイク（RM-2005）と接続するときに、リレーボックスを追加する必要がありません。
- 非常カット機能内蔵  
非常用放送設備と接続して使用する場合、非常放送時に本機のスピーカー出力をカットする機能を内蔵していますので、非常用電源制御機器を追加する必要がありません。
- スピーカー回線自動切り換え  
スピーカー回線に外部スピーカー入力リレーを組み込んであるため、電源オフ時または非常カット制御中外部スピーカー入力を優先的に使用することができます。
- 呼び出しチャイム音内蔵（切替式）  
4 種類のチャイムから選択できます。
- ラジオチューナー内蔵可能  
別売の壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー（VA-20）が組み込めます。
- ワイヤレスチューナー内蔵可能  
別売のワイヤレスチューナーユニットが 2 台組み込めます。
- グループ選択機能  
スピーカーセレクトターは個別選択だけでなく、任意の放送システムを 5 つのグループに記憶させることができます。
- 放送に優先順位をつけることが可能  
放送の内容により、6 つの優先順位を使い分けることができます。

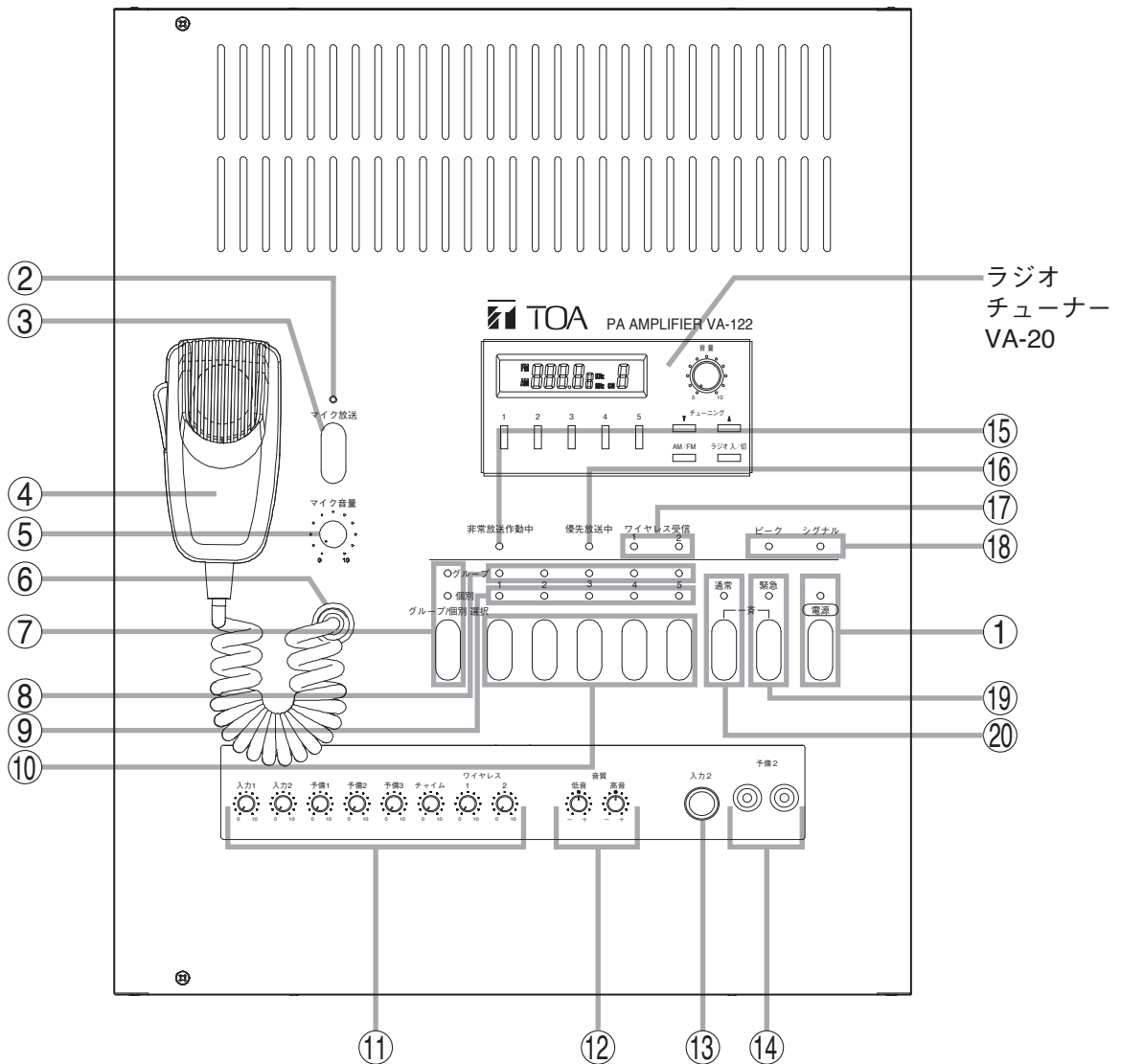
## 使用上のご注意

- 本機は設置工事が伴いますので、必ず販売店にご相談ください。
- 本機を清掃するときは、必ず本機の電源スイッチを切り、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

# 各部の名称とはたらき

## ● 壁掛型アンプ VA-62、VA-122

図は本体に壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー（VA-20）が組み込まれた状態です。



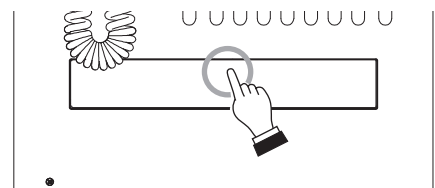
⑪～⑭はフロントカバーの内部にあります。

### フロントカバーの開けかた

フロントカバーを開けるときは、フロントカバーの中央を押してください。

- ※ カバーは手前に開きます。
- ※ 使用後はカバーを閉めてください。

### VA-62、VA-122



1. 電源スイッチ／表示灯  
押すと、電源が入り、表示灯が点灯します。  
電源を切るときは、0.3 秒以上押してください。
2. アナウンスマイク放送表示灯  
アナウンスマイク放送スイッチ (3) を押すと点灯します。  
マイク放送が可能なときに点滅します。
3. アナウンスマイク放送スイッチ  
アナウンスマイクから放送するときに使用します。一度押すとマイク放送状態になり、もう一度押すとマイク放送を終了します。呼び出しチャイムが設定されている場合は、設定に応じて、チャイムが鳴ります。(P. 11)  
  
※ チャイム音の設定は、本機内部のスイッチで行います。詳しくは別冊の設置説明書に記載しています。
4. アナウンスマイク  
アナウンスマイクの側面にトークスイッチがあります。トークスイッチを押している間、アナウンスマイクから放送ができます。  
**ご注意**  
トークスイッチを離してもアナウンスマイク放送スイッチ (3) で放送を終了するまではマイク放送状態になり、アナウンスマイクより優先度の低い放送はできませんので、切り忘れにご注意ください。(P. 11)
5. アナウンスマイク音量つまみ  
マイク入力の音量を調節します。
6. アナウンスマイク入力ジャック  
付属のアナウンスマイクを接続してください。
7. グループ／個別選択切換スイッチ／表示灯  
出力選択スイッチ (10) の機能をグループと個別選択のどちらかに切り換えます。  
スイッチを押すたびに切り換わります。
8. グループ選択表示灯  
出力選択スイッチ (10) で選択したグループの表示灯が点灯します。
9. 個別選択表示灯  
出力選択スイッチ (10) で選択した個々の放送系統、またはグループ選択した放送系統を表示します。
10. 出力選択スイッチ  
グループ／個別選択切換スイッチ (7) がグループのときはグループ番号を選択でき、個別のときは放送系統を個々に選択できます。
11. 音量つまみ  
各入力の音量を調節します。
12. 音質つまみ  
放送の音質を調節します。
13. 入力 2 ジャック  
600 Ω、-66 dB\*、平衡  
有線マイクを接続します。
14. 予備 2 ジャック  
5 kΩ、-12 dB\*、不平衡  
カセットデッキや CD プレーヤーなどを接続します。
15. 非常放送作動中表示灯  
本機の非常カット端子を非常用放送設備と接続しておく、非常放送時にこの表示灯が点灯するとともに、本機の出力をカットすることができます。  
  
(非常用放送設備との接続については、別冊の設置説明書をお読みください。)
16. 優先放送中表示灯  
入力 1 制御、電話ページング、一斉リモート端子が制御されたときに点灯し、下位の優先順位の入力がカットまたはミュート (音量が減衰) されます。  
(P. 19)
17. ワイヤレス 1、2 表示灯  
ワイヤレスマイク 1 またはワイヤレスマイク 2 からの電波を受信したときに点灯します。  
デジタルワイヤレスチューナーユニットを組み込んでいる場合のみ、妨害電波を受信したときや、コード設定またはモード設定が一致していないときには点滅します。  
ワイヤレスマイクを使用するためには、ワイヤレスチューナーユニット (別売の WTU-1820 または WTU-D2810) が必要です。  
(P. 18)
18. 出力レベル表示灯  
出力音量を表示します。「シグナル」が点灯し、「ピーク」が点灯しない程度に音量を調節してください。
19. 緊急一斉スイッチ／表示灯  
緊急事態で全放送エリアに一斉放送したいときに押します。緊急一斉モードでは各スピーカ-の音量調節器 (アッテネーター) の設定状態にかかわらず最大音量で放送されます。  
(スピーカ-出力の R ラインが出力されます。音量調節器は 3 線式配線が必要となります。)

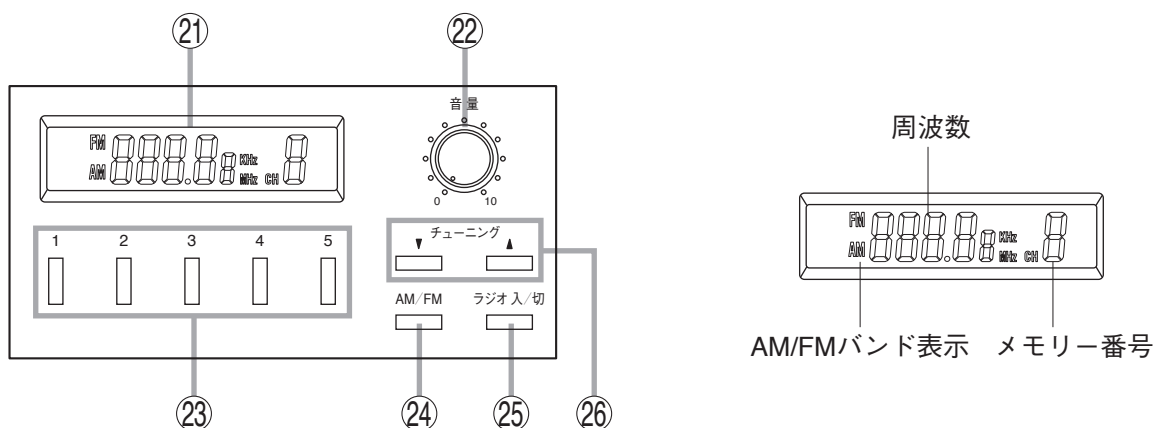
\* 0 dB = 1 V



## 20. 通常一斉スイッチ／表示灯

通常、全放送エリアに一斉放送したいときに押します。音量は各スピーカーに付いている音量調節器（アッテネーター）の状態により、異なります。

## ● 壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー VA-20（別売品）




### 21. 周波数／メモリー番号表示部

AM/FMバンド、受信周波数、およびメモリー番号を表示します。この表示が消えているとき、ラジオは動作していません。

### 22. ラジオ音量つまみ

ラジオの音量を調節します。  
時計回りに回すと、音量が大きくなります。

### 23. メモリー／選局キー

AM、FMを各5局メモリーできます。  
押すと、記憶されている放送局の周波数とメモリー番号が、周波数／メモリー番号表示部（21）に表示されます。3秒以上押し続けると、表示部（21）に表示されている周波数が記憶され、同時に記憶したメモリー番号も表示されます。  
（ P. 14）

### 24. AM/FMバンド切換キー

受信するバンドを切り換えるときに押します。  
押すたびに、AM放送とFM放送が切り換わりません。

### 25. ラジオ入／切キー

押すと、ラジオが動作し、周波数／メモリー番号表示部（21）に表示が現れます。もう一度押すと、ラジオが切れます。

### 26. チューニングキー

放送局を選局するときに押します。  
押すと、自動的に周波数が変化し、放送を受信するとその周波数で止まります。  
希望する放送局と異なる場合は、もう一度キーを押してください。

ラジオは、アンプ本体の電源が切られる直前の状態を保持します。

（例）ラジオの電源が入ったままアンプ本体の電源を切った場合、次にアンプの電源が入ったとき、ラジオは自動的に電源が入り、アンプ本体の電源が切られる直前に受信していた放送局の受信状態になります。



# 操作のしかた


## ■ 操作の前に

**1** 本体の電源スイッチを入れ、電源表示灯が点灯していることを確認する。

- 電源を入れると、以前に電源を切ったときの放送状態（入出力系統の選択）になります。
- 電源を切るときは、電源スイッチを 0.3 秒以上押してください。  
電源を入れるときは、電源スイッチを押すとすぐに入ります。


※ 以後の操作説明では、電源スイッチの「入／切」の説明は省きます。

**2** 音量を調節する。

- マイク放送の音量やその他の入力機器の音量は、あらかじめ設置時に調節しておいてください。放送の都度、音量を調節しなくて済みます。
- 音量のめやすを示す「マーキングシール」は、フロントカバー内側に貼ってご使用ください。  
( P. 10)

### メモ

本機は放送の内容によって、入力の放送優先順位が設定されています。

(例) BGM 放送中にマイク放送をすると、自動的に BGM 放送が中断されマイク放送に切り換わります。マイク放送が終了すると、自動的に BGM 放送に切り換わります。ご自分で音量を調節する必要がなく、便利にお使いいただけます。(  P. 19)

## ■ 音量・音質の調節のしかた

### ● 音量を調節する

スピーカー全体の音量は本機の音量つまみで調節します。スピーカーごとの音量はスピーカーに音量調節器（アッテネーター）が付いている場合、その音量調節器で行います。

また、スピーカーの入力 W 数が切り換え可能なものは、H/L 切換スイッチまたは、入力端子、トランスのタップなどを切り換えて音量を調節します。

放送の音量は放送内容（プログラム）や放送する場所により、それぞれ違った音量となりますが、下記のような音量を目安として調節してください。緊急放送の場合はスピーカーの音量調節器（アッテネーター）の状態にかかわらず最大音量で放送されます。（音量調節器が「切」の状態になっていても放送されます。）

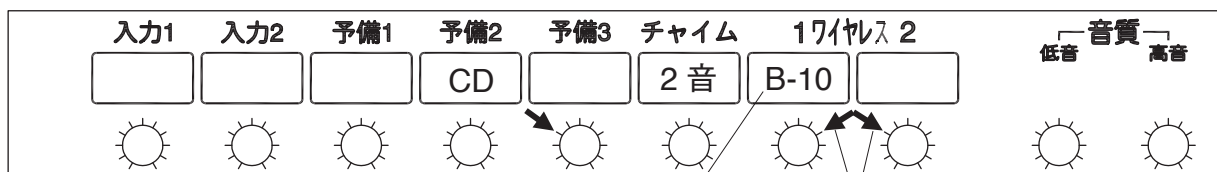
#### 音量の目安

マイク放送	
案内放送	周囲騒音より約 6 ~ 10 dB 大きい音量
時報チャイム放送	
BGM 放送	周囲騒音と同程度か、約 3 dB まで大きい音量

本機では前面に出力レベル表示灯がありますので、放送中に「シグナル」が点灯し、「ピーク」が点灯しない程度の音量に調節してください。ピークが常時点灯している状態で使用すると、音の歪みが多くなりますので、音量つまみを少し絞って調節してください。

音量調節が完了したら、付属のマーキングシールの音量目盛りに印を付けて本機のフロントカバーの内側に貼り付けてください。

#### マーキングシール



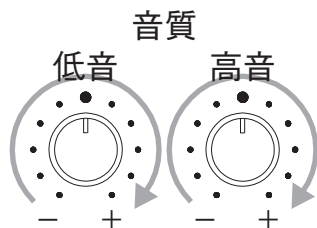
最適な音量の目盛りに印をつけてください。  
この欄にチャンネル呼称を書き込んでください。

### ● 音質を調節する

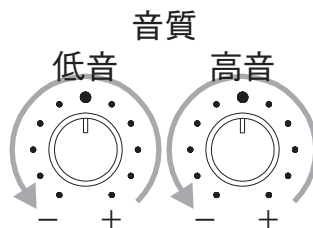
本機の音質調節は、フロントカバー内の音質つまみ（低音・高音）で行います。

中央「0」が標準位置で周波数がフラットな特性になります。低音、高音ともに“+”方向に回すと、それぞれが増強され、逆に“-”方向に回すと、それぞれが減少します。

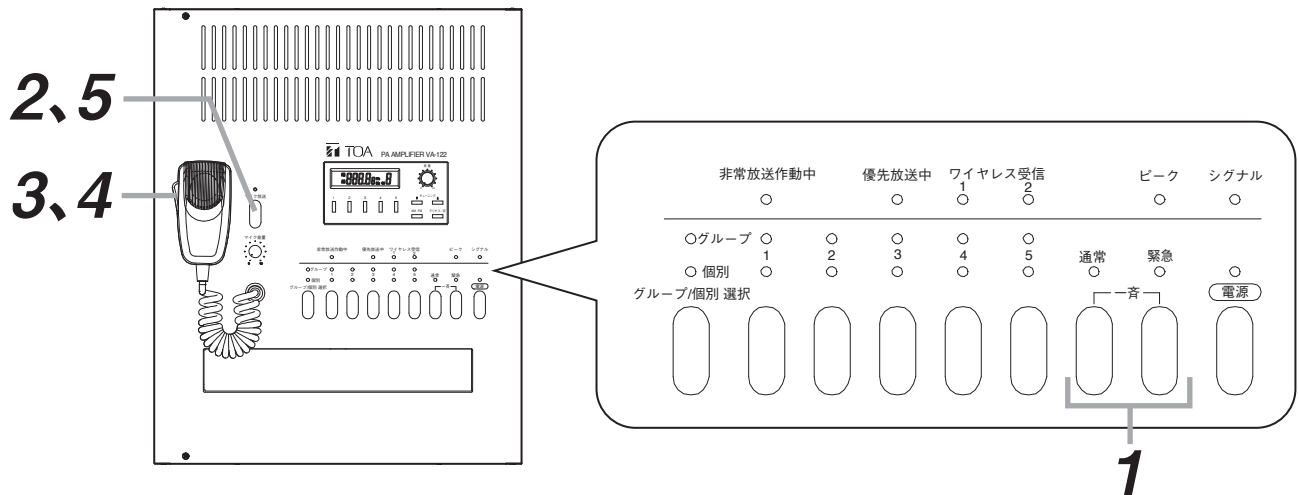
時計回りに回すと増強



反時計回りに回すと減少



## ■ アナウンスマイクを使って一斉放送をする



**1** 通常一斉放送をする場合は通常一斉スイッチを、緊急一斉放送をする場合は緊急一斉スイッチを押す。

押されたスイッチ上部の表示灯が点灯します。

グループ/個別選択切換スイッチが「グループ選択」の場合は、グループ1～5表示灯と個別1～5表示灯のすべてが点灯します。「個別選択」の場合は、個別1～5表示灯のすべてが点灯します。

- 緊急一斉スイッチを押した場合は、各スピーカーの音量調節器（アッテネーター）の状態にかかわらず最大音量で放送されます。（音量調節器（アッテネーター）が「切」の状態になっていても放送されます。）

**2** 本体のアナウンスマイク放送スイッチを押す。

呼び出しチャイムが設定されているときは、呼び出しチャイムが鳴ります。

この時、アナウンスマイク放送表示灯が点灯します。

**3** アナウンスマイク放送表示灯が点滅に変わったら、アナウンスマイク側面のトークスイッチを押しながら放送する。

トークスイッチを押している間、放送ができます。

マイク音量はアナウンスマイク放送スイッチ下のアナウンスマイク音量つまみで調節してください。

**4** 放送が終わったらトークスイッチを離す。

**5** 本体のアナウンスマイク放送スイッチをもう一度押す。

上り下り4音チャイムに設定されているときは、下り4音チャイムが鳴った後、アナウンスマイク放送表示灯が消灯します。

呼び出しチャイムが「切」のときや他のチャイム音に設定されているときにはアナウンスマイク放送表示灯はすぐに消灯します。

### ご注意

アナウンスマイク放送スイッチを押して終了するまで、アナウンスマイク放送表示灯は点滅しています。

アナウンスマイク放送スイッチを切り忘れると、アナウンスマイクより低い優先順位の放送ができなくなりますので、ご注意ください。

## ■ アナウンスマイクを使って個別放送をする

- 1** グループ／個別選択切換スイッチを押して、個別放送を選択する。  
個別表示灯が点灯します。
- 2** 放送したい放送系統の出力選択スイッチを押す。  
選択した放送系統の個別選択表示灯が点灯していることを確認します。
- 3** 本体のアナウンスマイク放送スイッチを押す。  
呼び出しチャイムが設定されているときは、呼び出しチャイムが鳴ります。  
このとき、アナウンスマイク放送表示灯が点灯します。
- 4** アナウンスマイク放送表示灯が点灯から点滅に変わったら、アナウンスマイク側面のトークスイッチを押しながら放送する。  
トークスイッチを押している間、放送ができます。  
マイク音量はアナウンスマイク放送スイッチ下のアナウンスマイク音量つまみで調節してください。
- 5** 放送が終わったらトークスイッチを離し、本体のマイク放送スイッチをもう一度押す。  
上り下り4音チャイムに設定されているときは、下り4音チャイムが鳴った後、アナウンスマイク放送表示灯が消灯します。  
呼び出しチャイムが「切」のときや他のチャイム音に設定されているときにはアナウンスマイク放送表示灯はすぐに消灯します。

### ■ ご注意

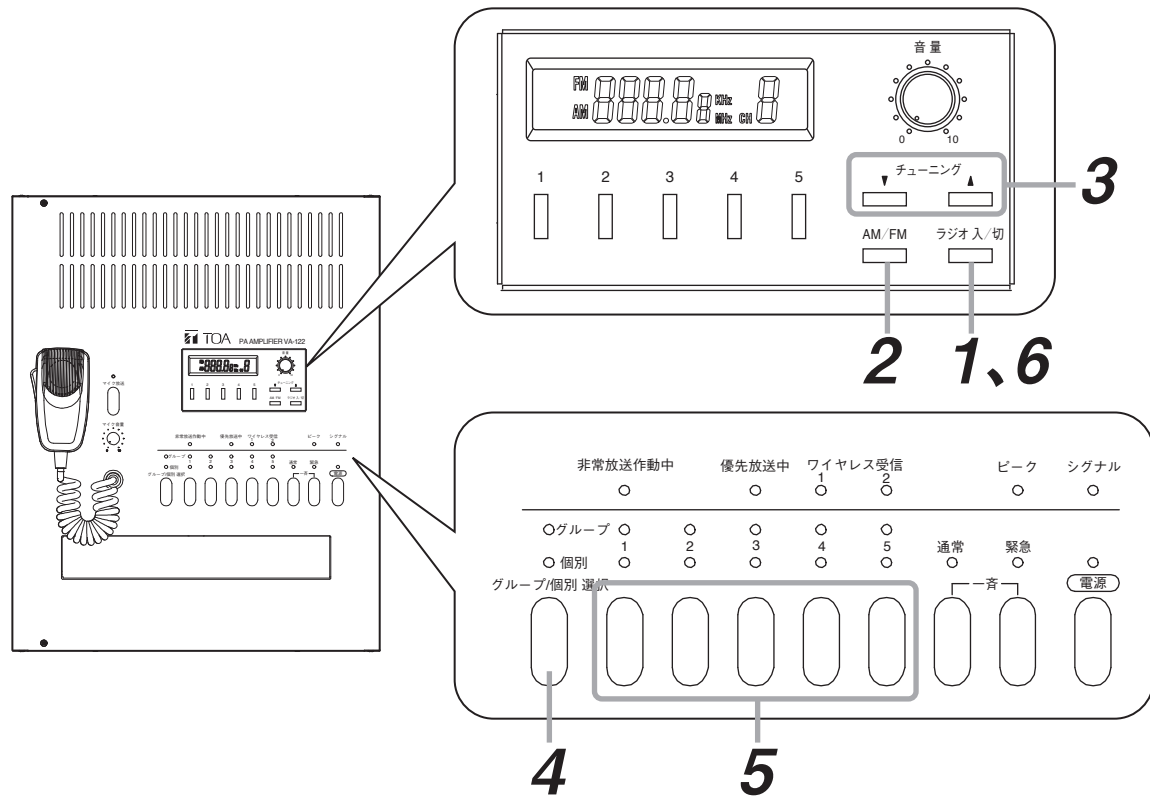
アナウンスマイク放送スイッチを押して終了するまで、アナウンスマイク放送表示灯は点滅しています。アナウンスマイク放送スイッチを切り忘れると、アナウンスマイクより低い優先順位の放送ができなくなりますので、ご注意ください。

## ■ CD プレーヤーなどで放送する

- 1** グループ／個別選択切換スイッチを押して、グループ放送か個別放送を選択する。
- 2** 個別放送の場合は、放送したい放送系統の出力選択スイッチを押す。  
選択した放送系統の個別選択表示灯が点灯していることを確認します。
- 3** CD プレーヤーを動作させる。

※ 音量はフロントカバー内の音量つまみで調節してください。  
CD プレーヤーが予備 1・2・3 に接続されているときは、優先度の高い放送によってミュートされていることがあります。

## ■ ラジオを受信して放送する（別売の VA-20 組み込み時のみ）



### 1 ラジオ入／切キーを押す。

周波数／メモリー番号表示部が表示され、前回電源を切る直前の放送局を受信します。

### 2 AM/FM バンド切換キーで AM 放送か FM 放送を選択する。

押すたびに AM と FM が切り換わります。

### 3 チューニングキー▲▼を押して、放送したい放送局の周波数に合わせる。

▲キー（または▼キー）を2秒以上押すと、AM 放送は 9 kHz ステップ、FM 放送は 0.1 MHz ステップで自動的に周波数が変化し、放送を受信するとその周波数で止まります。周波数が止まった状態で、もう一度▲キー（または▼キー）を2秒以上押すと、次に受信できる周波数を検索します。

すでにメモリーに記憶させている場合は、放送したいメモリー／選局キーを押します。

### 4 本機のグループ／個別選択切換スイッチを押して、放送システムを選択する。

### 5 放送したい放送システムの出力選択スイッチを押す。

選択した放送システムの表示灯が点灯していることを確認します。

音量は本機前面のラジオ操作パネルのラジオ音量調節つまみで調節します。

### 6 放送が終わったら、ラジオ入／切キーを押して、ラジオを切る。

※ ラジオは、アンプ本体の電源が切られる直前の状態を保持します。

（例）ラジオの電源が入ったままアンプ本体の電源を切った場合、次にアンプの電源が入ったとき、ラジオは自動的に電源が入り、アンプ本体の電源が切られる直前に受信していた放送局の受信状態になります。

## ● 受信周波数のメモリーのしかた

AM 放送で 5 局、FM 放送で 5 局、周波数を記憶させることができます。  
記憶させた周波数は、メモリー／選局キーを押すだけで呼び出すことができます。

### 1 記憶させたい放送局の周波数に設定する。

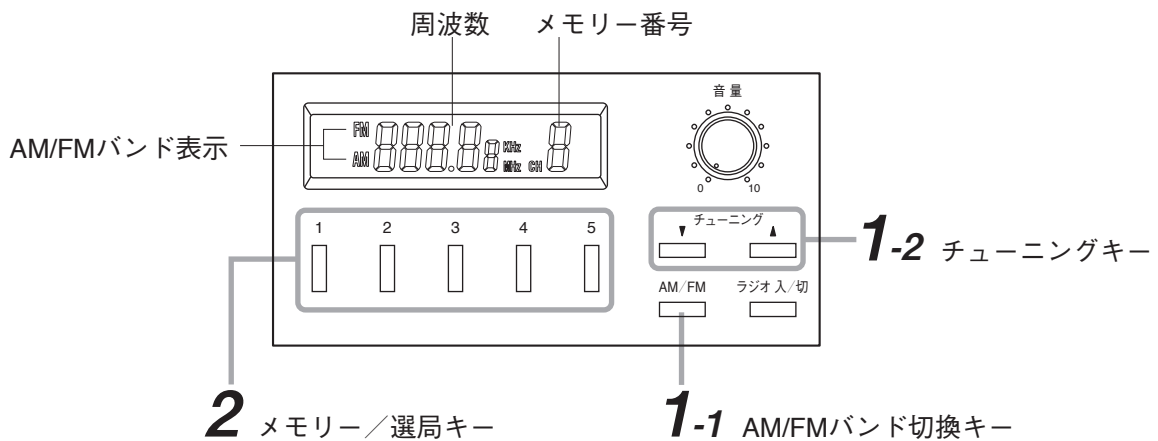
#### 1-1 AM/FM バンド切換キーを押して、AM 放送か FM 放送を選択する。

押すたびに AM/FM バンド表示が AM か FM に切り換わります。

#### 1-2 チューニングキー▲▼を押して、希望する放送局の周波数に合わせる。

▲キー（または▼キー）を 2 秒以上押すと、AM 放送は 9 kHz ステップ、FM 放送は 0.1 MHz ステップで自動的に周波数が変化し、放送を受信するとその周波数で止まります。周波数が止まった状態で、もう一度▲キー（または▼キー）を 2 秒以上押すと、次に受信できる周波数を検索します。

### 2 記憶させたいメモリー／選局キーを、表示部にメモリー番号が表示されるまで押す。 約 3 秒押し続けると、表示されます。



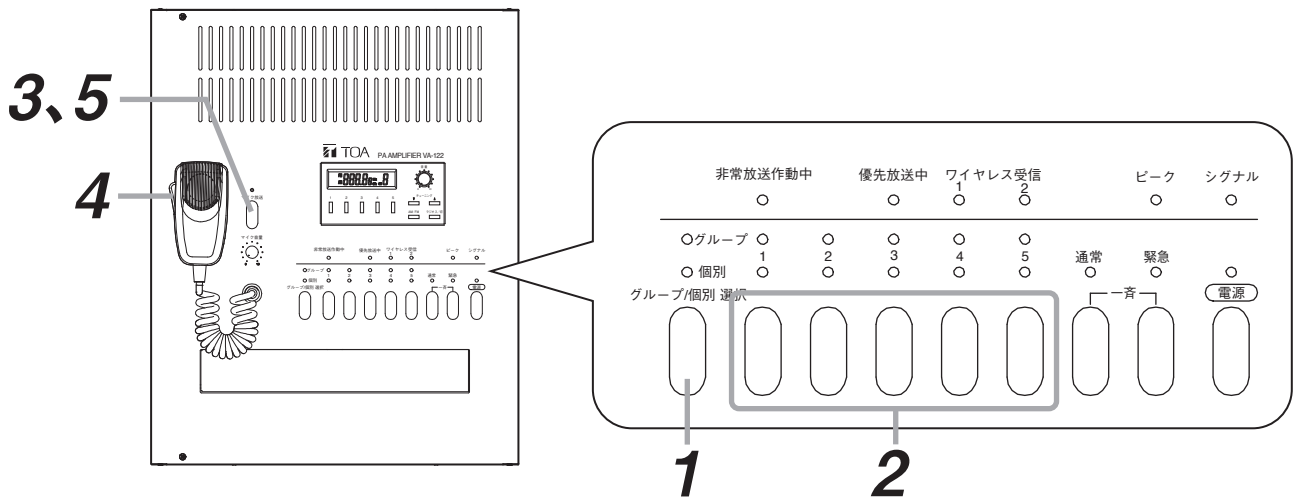
## ■ グループ放送をする

よく放送する放送システムをグループとして登録しておく、複数の放送システムをグループにまとめて、1つの放送システムとして使用できます。

あらかじめ、グループ登録をしておく必要があります。

※ グループ登録については、設置業者にご依頼ください。

グループ登録の設定方法は別冊の設置説明書に記載しています。



**1** グループ／個別選択切換スイッチを押して、グループ放送を選択する。  
グループ放送表示灯が点灯します。

**2** 放送したいグループ放送の出力選択スイッチを押す。

**3** アナウンスマイク放送スイッチを押す。  
呼び出しチャイムが設定されているときは、呼び出しチャイムが鳴ります。  
このとき、アナウンスマイク放送表示灯は点灯します。

**4** アナウンスマイク放送表示灯が点滅になったら、アナウンスマイク本体側面のトークスイッチを押しながら放送する。  
トークスイッチを押している間、放送されます。  
トークスイッチを離すと、放送が中断されます。  
マイク音量はアナウンスマイク放送スイッチ下のアナウンスマイク音量つまみで調節してください。

**5** 放送が終わったらトークスイッチを離し、本体のマイク放送スイッチをもう一度押す。  
上り下り4音チャイムに設定されているときは、下り4音チャイムが鳴った後、アナウンスマイク放送表示灯が消灯します。  
呼び出しチャイムが「切」のときや他のチャイム音に設定されているときにはアナウンスマイク放送表示灯はすぐに消灯します。

### ■ ご注意

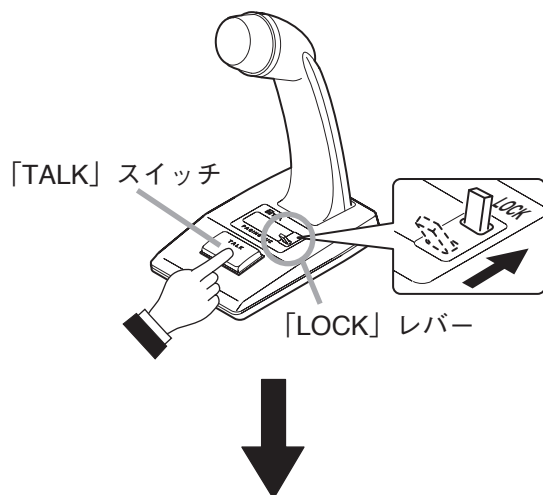
アナウンスマイク放送スイッチを押して終了するまで、アナウンスマイク放送表示灯は点滅しています。アナウンスマイク放送スイッチを切り忘れると、アナウンスマイクより低い優先順位の放送ができなくなりますので、ご注意ください。



## ■ 一斉リモートマイク（別売品）で放送する

リモートスイッチ付卓上型マイクを使用した例です。リモート機能付接話型マイクやリモート機能付ハンド型ダイナミックマイクも使用できます。

- 1 卓上型マイクの「TALK」スイッチを押し続けるか、レバーを「LOCK」にする。  
「TALK」スイッチを押す場合は、押し続けている間、マイク放送ができます。



本体アンプの電源と緊急一斉スイッチが自動的に入ります。  
呼び出しチャイムが設定されているときは、呼び出しチャイムが鳴ります。  
このとき、本体アンプ前面の優先放送中表示灯が点灯します。

- 2 マイクから放送する。

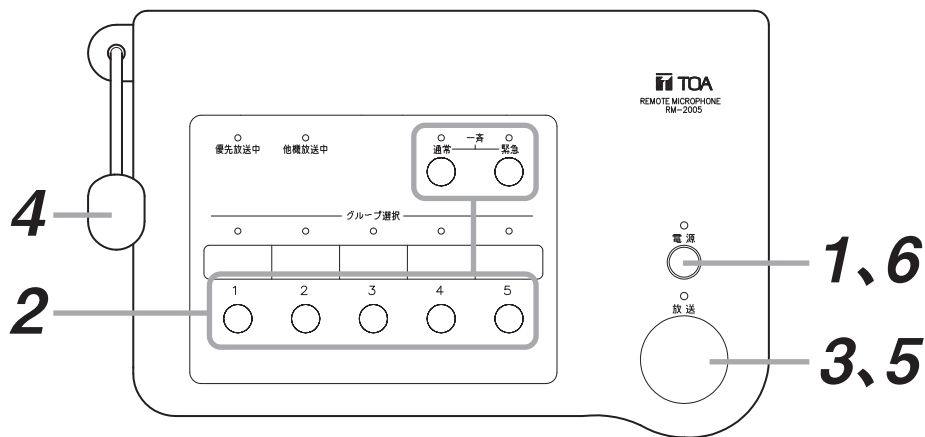
- 3 放送が終わったら、「TALK」スイッチを離すか、「LOCK」レバーを解除する。

上り下り4音チャイムに設定されているときは、下り4音チャイムが鳴ります。  
下り4音チャイムが流れた後、アンプの電源と緊急一斉スイッチが自動的に切れます。  
アンプの電源が入った状態でリモートマイクから起動がかかった場合は、アンプの電源は入ったままです。

※ 放送系統は緊急一斉が選択されますが、設定により通常一斉やグループが選択できます。  
放送系統の設定を変更したい場合は、設置業者にご依頼ください。設定方法は別冊の設置説明書に記載しています。

## ■ リモートマイク（別売品）で放送する

リモートマイクをご利用になるときは、5局リモートマイク RM-2005（別売品）をご使用ください。



### 1 リモートマイクの電源スイッチを押し、電源を入れる。

電源表示灯が点灯し、前回電源を切る直前の放送選択状態になります。本体アンプの電源も連動して入ります。

他の機器が放送中の場合は、他機放送中表示灯、または優先放送中表示灯が点灯します。

### 2 放送システムを選択する。

一斉放送を行いたい場合は、通常一斉スイッチまたは、緊急一斉スイッチを押します。

グループ放送を行いたい場合は、放送したいグループ選択スイッチを押します。

選択された放送システムの表示灯が点灯します。

リモートマイクでは、個別系統の選択はできません。

### 3 放送スイッチを押す。

呼び出しチャイムが設定されているときは、呼び出しチャイムを放送します。このとき、放送スイッチの上の放送表示灯は点滅します。

呼び出しチャイムが「切」のときは、すぐに点灯になります。

### 4 リモートマイクから放送する。

放送スイッチの上の放送表示灯が点灯しているのを確認し、マイクから 10 cm 程度離れて放送してください。

### 5 放送が終わったら、放送スイッチを押す。

上り下り 4 音チャイムに設定されているときは、下り 4 音チャイムが鳴ります。

このとき、放送表示灯は点滅します。

呼び出しチャイムが「切」のときや他のチャイム音に設定されているときには、マイク放送表示灯はすぐに消えます。

### 6 リモートマイクの電源を切る。

電源スイッチを 0.3 秒以上押します。

本機の電源が切れ、すべての表示灯が消灯します。

本体アンプの電源がリモートマイクの電源「入」に連動して入った場合は、本体アンプの電源も切れます。

#### ご注意

本体アンプ（VA-62、VA-122）のアナウンスマイクからの放送中に、リモートマイクの放送スイッチが押されると、アナウンスマイクからの放送は自動的に中断され、リモートマイクからの放送が始まります。

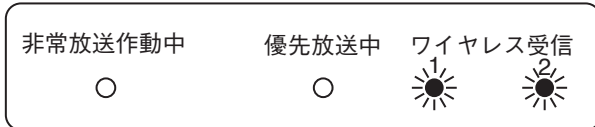
反対に、リモートマイクの放送中に、本体アンプでマイク放送スイッチが押されると、リモートマイクからの放送が自動的に中断され、本体アンプのアナウンスマイクからの放送が始まります。

## ■ ワイヤレスマイクで放送する

- ワイヤレスマイクをご利用になるときは、800MHz 帯のワイヤレスチューナーユニット（別売品）とワイヤレスアンテナ（別売品）を必ずご使用ください。
- ワイヤレスマイクは、ワイヤレスチューナーユニットと同じチャンネル呼称のものをお選びください。
- ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクの距離は 3 m から 20 m 程度で使用してください。
- 3 m 以内で使用すると雑音を発生したり、混信の原因になることがあります。
- 2 つの異なるチャンネルを同時に使用するとき、2 つのマイク間の距離は 50 cm 以上離してください。

### 1 ワイヤレスマイクのスイッチを入れる。

ワイヤレスマイクの電波を受信すると、本機のワイヤレス表示灯が点灯します。



### 2 グループ／個別選択切換スイッチを押して、グループまたは個別を選択する。

### 3 出力選択スイッチ（グループ選択スイッチまたは個別選択スイッチ）を押して、放送したい放送システムを選択する。

### 4 ワイヤレスマイクから放送する。

### 5 放送が終わったら、必ずワイヤレスマイクのスイッチを切る。

※ 音量はフロントカバー内のワイヤレスの音量つまみで調節してください。

## ■ 電話機からページング放送をする

内線電話を使ってページングをすることができます。

### 1 受話器を上げて電話ページングトランクを呼び出す。

交換機の電話ページングが起動されます。  
本体アンプの電源が連動して起動され、緊急一斉表示灯が点灯します。

### 2 受話器の送話口からページング放送をする。

全放送エリアに放送されます。

### 3 放送が終わったら、受話器を置いてページングモードを解除する。

緊急一斉表示灯が消灯し、本体アンプの電源が切れます。  
アンプの電源が入った状態でページングモードが起動された場合は、アンプの電源は入ったままです。

※ 放送システムは緊急一斉が選択されますが、設定により通常一斉やグループが選択できます。変更したい場合は、設置業者にご依頼ください。設定方法は別冊の設置説明書に記載しています。

## ■ 放送の優先順位について

本機は制御入力により、放送に優先順位がついています。

優先順位の高い放送が始まると、優先順位の低い放送はカット（消音）またはミュート\*<sup>1</sup>（音量が減衰）されます。

優先順位 3 以上の放送時には優先放送中表示灯が点灯します。

なお、優先順位の同じ入力は各々ミキシングされ、同時に放送されます。ただし、優先順位 4 は後押し優先となります。また、ワイヤレスマイクは優先順位 2～5 とミキシングされ、優先順位 6 の放送をミュートします。

- 優先順位 1 の放送は、他の放送によりカットされることはありません。
- 優先順位 2～4 の放送は、優先順位の高い制御信号により放送がカットされると高優先の制御が解除された後も放送カットのままとなります。再度放送したい場合には、一度制御をオフにし\*<sup>2</sup>、再び制御をオンにしてください。
- 優先順位 5、6、ワイヤレスマイクの放送は、優先順位の高い放送によりカット（またはミュート）されても、高優先の放送が終わると、もとの放送にもどります。

\*<sup>1</sup> ミュートは、ミュート量調節器による設定値まで音量が下がります。

\*<sup>2</sup> 制御のオフを手動で行わなければならない放送

- 電話ページング  
一度受話器を置いてから、放送をやりなおす。
- 放送スイッチがロック式のリモートマイク  
リモートマイクのロックを解除してから、放送をやりなおす。

優先順位	放送	音声入力	制御入力	優先放送中表示灯	説明
1	優先 1	入力 1	入力 1 制御	点灯	他の放送によりカットされません。
2	電話ページング	電話ページング	電話ページング	点灯	高優先順位入力によりカットされ、低優先順位入力をカットします。
3	単局リモートマイク	リモートマイク	一斉リモート	点灯	ただし、優先順位 6 はミュートします。ワイヤレスマイクはミキシングされます。
4 (後押し優先)	5局リモートマイク アナウンスマイク	リモートマイク 前面マイク	リモート制御 マイク放送スイッチ (前面)	消灯 消灯	優先順位 4 以上によりカットされ、優先順位 6 をミュートします。
5	入力 1 入力 2	入力 1 入力 2	音声信号 音声信号	消灯 消灯	優先順位 1 によりカットされ、優先順位 2～5 と、ワイヤレスマイクによりミュートされます。
6	ラジオ 予備 1 予備 2 予備 3	ラジオ 予備 1 予備 2 予備 3	なし なし なし なし	消灯 消灯 消灯 消灯	優先順位 1 によりカットされ、優先順位 6 をミュートします。優先順位 2～5 と、ミキシングされます。
	ワイヤレスマイク 1 ワイヤレスマイク 2	ワイヤレスマイク 1 ワイヤレスマイク 2	音声信号 音声信号	消灯 消灯	優先順位 1 によりカットされ、優先順位 6 をミュートします。優先順位 2～5 と、ミキシングされます。

高い  
↑  
優先度  
↓  
低い

# 故障かな？と思ったら

電源が入らない、音が出ないなどの場合には、以下の説明に従って処置してください。本機の機能が回復しないで、アフターサービスが必要なときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

症状	点検項目	処置
電源スイッチを「入」にしても電源表示灯が点灯しない。 (電源が入らない。)	ブレーカーがオフになっていませんか。	ブレーカーをオンにします。
音が出ない。	入力に対応した音量つまみが「0」になっていませんか。	音量つまみを時計回りに回して適当な音量にしてください。
	放送システムを選択していますか。	放送システム選択スイッチを押して放送システムを選択します。
	高い優先順位の放送中ではありませんか。(優先放送中表示灯が点灯していませんか。)	優先順位の高い放送が終了してから放送してください。(P. 19)
	非常放送中ではありませんか。(非常放送作動中表示灯が点灯していませんか。)	非常放送が終了するまで、お待ちください。(P. 7)
音が小さくなったり、大きくなったりする。	予備 1、2、3 入力するとき、他に優先順位の高い放送がされていませんか。	優先順位の高い放送が終了してから放送するか、ミュート回路のミュート量を調節してください。(P. 19)
ラジオが受信できない。	ラジオの音量つまみが「0」になっていませんか。	音量つまみを時計回りに回して適当な音量にしてください。
	受信周波数は放送局の周波数に合っていますか。	チューニングキー(▼▲)を押して聞きたい放送局の周波数に合わせます。
	他に優先順位の高い放送がされていませんか。	優先順位の高い放送が終了するまでお待ちください。

## [ワイヤレスマイクを使用のとき]

症状	点検項目	処置
受信表示灯が点灯しない。(受信しない)	チューナーユニットが入っていますか。	チューナーユニットを入れてください。(別冊の設置説明書)
	ワイヤレスマイクの電源スイッチは「ON」になっていますか。	ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にしてください。
	ワイヤレスマイクの乾電池は消耗していませんか。	新しい乾電池に交換してください。
	ワイヤレスマイクとチューナーユニットの周波数(グループとチャンネル)が合っていますか。	ワイヤレスマイクとチューナーユニットの周波数(グループとチャンネル)を同じにしてください。(別冊の設置説明書)
受信表示灯が点滅する。 (WTU-D2810 を組み込んでいる場合のみ)	コード設定は正しいですか。	チューナーユニットとワイヤレスマイクのコード設定を同じにしてください。(別冊の設置説明書)
	モード設定は正しいですか。	チューナーユニットとワイヤレスマイクのモード設定を同じにしてください。(別冊の設置説明書)
	妨害電波を受信していませんか。	周波数の設定を変更してください。(別冊の設置説明書)

## ご注意

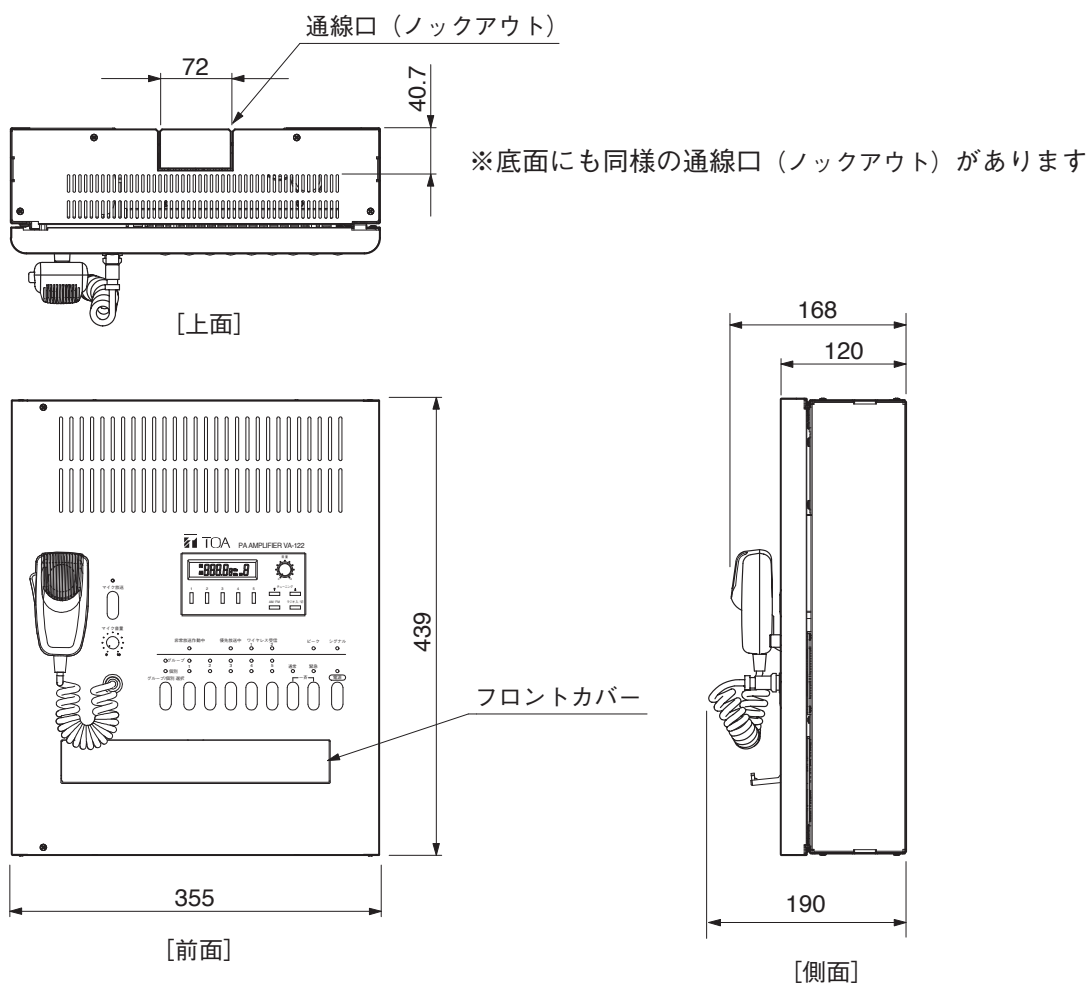
本機は、落雷などで発生する大きな雑音信号が入出力線(制御入力線やスピーカー線など)や電源から入力されたときに、本機を故障から保護するために内部回路が遮断し、一時的に電源が入らなくなることがあります。

この場合、販売店や設置業者に問い合わせる前に、一度ブレーカーをオフして数秒間待ち、再度ブレーカーをオンにしてみてください。

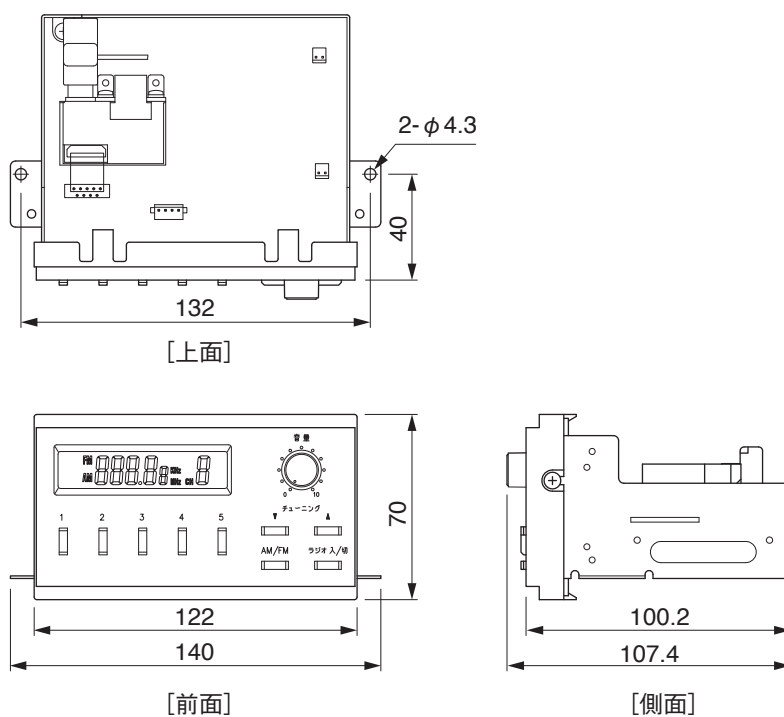
# 外觀寸法図

単位：mm

## ● 壁掛型アンプ VA-62、VA-122



## ● 壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー VA-20 (別売品)



# 仕 様

## ■ 壁掛型アンプ VA-62、VA-122

電 源	AC100 V 50/60 Hz、M4 ねじ端子
定 格 出 力	60 W (VA-62)、120 W (VA-122)
消 費 電 力	52 W (VA-62)、85 W (VA-122) (電気用品安全法による) 120 W (VA-62)、210 W (VA-122) (定格出力時)
入 力	電話ページング：5 kΩ、-12 dB*、不平衡、M3 ねじ端子 リモートマイク：600 Ω、-12 dB*、平衡、M3 ねじ端子 入力 1：600 Ω、-66 dB* / -12 dB* (切換可)、平衡、M3 ねじ端子 入力 2：600 Ω、-66 dB*、平衡、M3 ねじ端子 (本体内部) / ホーンジャック (前面) 予備 1：5 kΩ、-12 dB*、不平衡、M3 ねじ端子 予備 2：5 kΩ、-12 dB*、不平衡、M3 ねじ端子 (本体内部) / RCA ピンジャック (前面) 予備 3：5 kΩ、0 dB*、不平衡、M3 ねじ端子 優先制御入力により入力 1 の放送優先度設定
出 力	スピーカー出力：ハイインピーダンスライン、M3.5 ねじ端子 100 系出力は内部切換により 70 系出力に変更可 5 局スピーカーセクター：個別、グループ 各 5 系統に放送可能 (通常・緊急一斉放送可) ライン出力：600 Ω、0 dB*、不平衡、M3 ねじ端子
歪 率	0.5% 以下 (1 kHz 定格出力)
周 波 数 特 性	50 Hz ~ 20 kHz ± 3 dB (ラインレベル入力定格出力時)
音 質 調 整	100 Hz、10 kHz にて ± 10 dB 以上
S N 比	60 dB 以上
制 御 入 力	優先 (電源リモート 緊急一斉放送)、電話ページング (電源リモート 緊急一斉放送)、一斉リモート制御入力 (電源リモート 緊急一斉放送)、通信、非常カット (DC24 V ブレイク) 開放電圧：DC15 V、短絡電流：3 mA 以下 緊急一斉放送は設定により通常一斉放送、グループ選択に変更可
内 蔵 チ ャ イ ム	上り 4 音・下り 4 音、上り 4 音、2 音、1 音 (切換式・前面ボリューム付)
機 能	グループ/個別切換スイッチ付、スピーカー回線自動切換、アナウンスマイク付
使 用 温 度 範 囲	-10 ~ +40°C
仕 上 げ	パネル：表面処理鋼板、クールグレー (マンセル 6.3Y8.9/0.4 近似色)、塗装 ケース：表面処理鋼板、クールグレー (マンセル 6.3Y8.9/0.4 近似色)、塗装
寸 法	355 (幅) × 439 (高さ) × 120 (奥行) mm (突起部除く)
質 量	VA-62: 10 kg、VA-122: 10.7 kg (アンプユニットを含む)

\* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

マーキングシール .....	1
エッジガード .....	1
型紙 .....	1
タッピンねじ 4 × 10 .....	4



## ● 別売品

壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー：VA-20

ダイバシティチューナーユニット：WTU-1820（アナログ）、WTU-D2810（デジタル）

※ ワイヤレスマイクは、WTU-1820 の場合はアナログ方式、WTU-D2810 の場合はデジタル方式をご使用ください。

## ■ 壁掛型アンプ組込用ラジオチューナー VA-20（別売品）

電 源	DC16 V
消 費 電 流	50 mA 以下
受 信 方 式	スーパーヘテロダイン方式
受 信 周 波 数	AM：522 kHz～1629 kHz（9 kHz ステップ） FM：76 MHz～108 MHz（100 kHz ステップ）
音 声 出 力	-15 dB*（負荷抵抗 22 kΩ）
メ モ リ ー 局 数	AM、FM 各 5 局
使 用 温 度 範 囲	-10～+40°C
使 用 湿 度 範 囲	90% RH 以下（ただし結露のないこと）
仕 上 げ	パネル：ABS 樹脂、クールグレー（マンセル 6.3Y8.9/0.4 近似色）、塗装
寸 法	140（幅）× 70（高さ）× 107.4（奥行）mm
質 量	250 g

\* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ● 付属品

本体取付金具 .....	2
タッピンねじ 3 × 8 .....	4
タッピンねじ 4 × 10 .....	2
AM ループアンテナ .....	1
FM フィーダーアンテナ .....	1

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用)	
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	<b>0120-108-117</b> ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
<p>当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。</p>		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00022-02